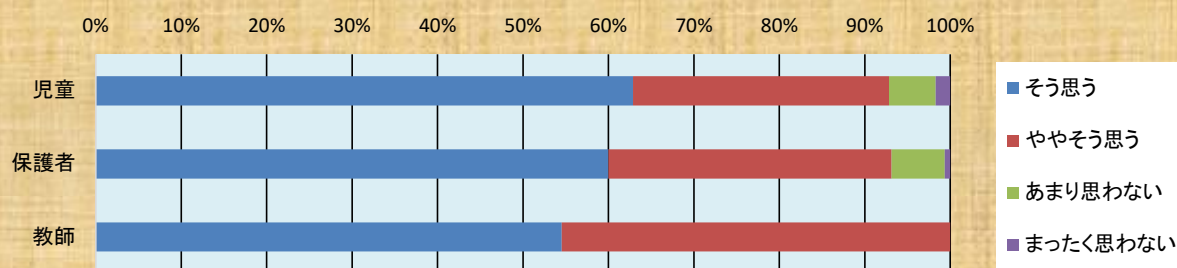


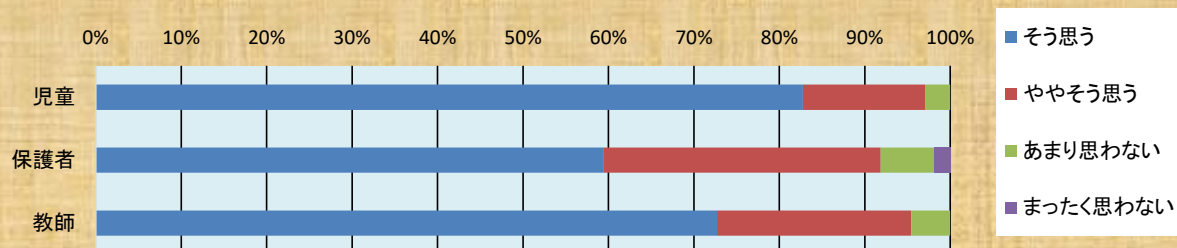
「学校評価・教育活動等に関するアンケート」保護者・児童・教師比較結果

1 学校は楽しいですか



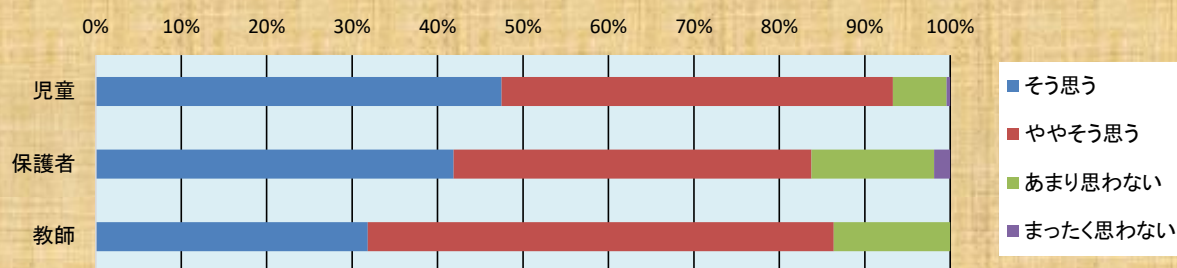
設問1「学校は楽しいですか」に対して「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答が児童、保護者、教師が9割を超えた。新型コロナウイルス感染症対策前の生活に戻り、「やわタイム」などのSST(ソーシャルスキルトレーニング)を行うことにより、コミュニケーション力も上がり、学校生活も楽しくなってきたと思われる。

2 学校目標の「みんなが行きたくなる笑楽校」合い言葉「やってみる」「笑ってあいさつする」「助け合う」を知っていますか



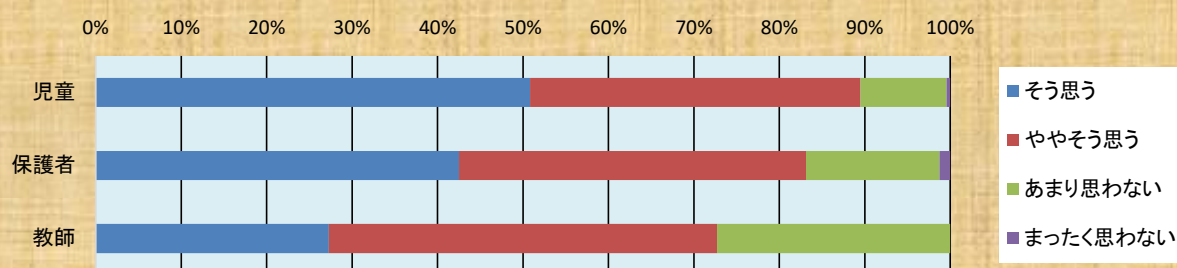
設問2 児童の90%以上が知っていると言うように浸透してきている。もう少し保護者にもPRしていきたい。

3 いろいろなことをやってみようとしていますか



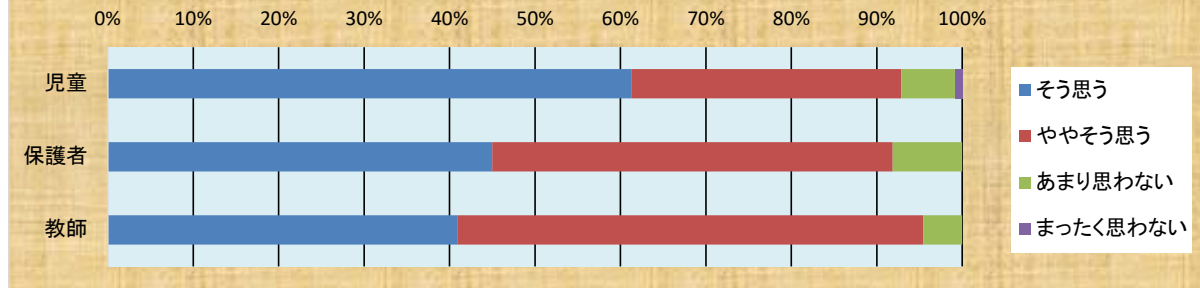
設問3 90%以上の児童が前向きに「いろいろなことをやってみよう」としているが、「そう思う」と言う児童が高学年になるに従い減少しているため、いろいろな機会を紹介したり、設けたりしてやってみようとする心を育てていきたい。

4 あいさつができていますか



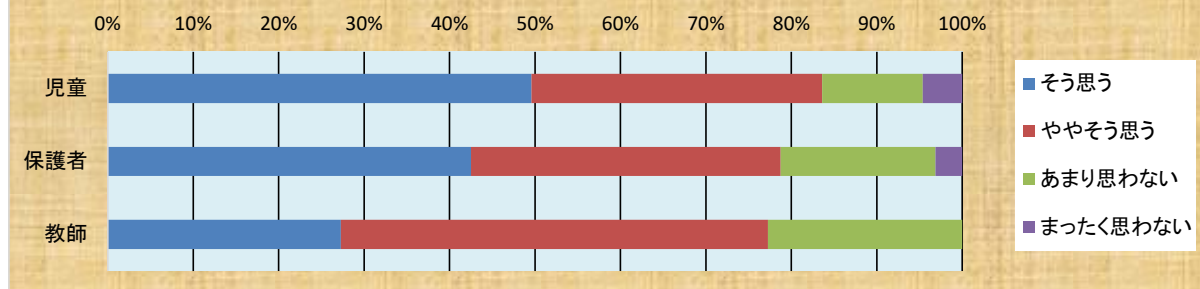
設問4 「そう思う」の割合が昨年に比べて児童が減り、保護者、教師は増えた。児童はもっとできたと思ったのかもしれない。これからは、あいさつ運動を通して、さらにあいさつができるようにしていくと良いと思われる。

5 友だちと助け合っていますか



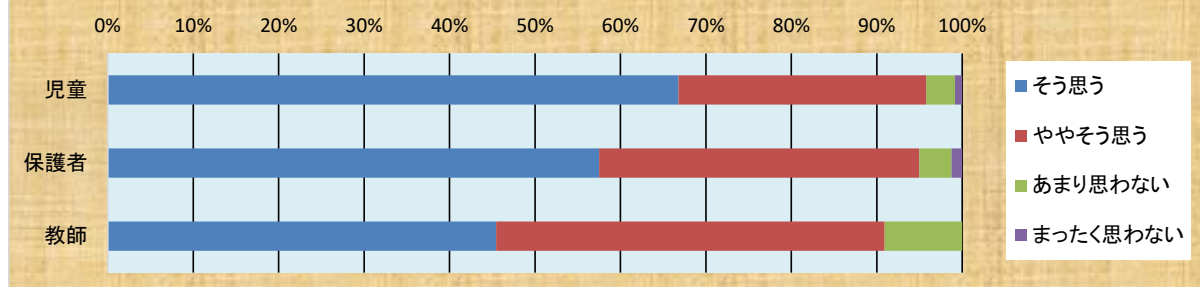
設問5 コロナウイルス感染症対策も解除され、「やわタイム」などのSSTを通して友達と関わる機会やいろいろ協力していく機会がまた増えてきた。子ども本来の優しさにお互いふれあうことにより、助け合いの精神が育成されていると思われる。

6 書道の時間は楽しく取り組みましたか



設問6 授業の反省もコンピュータで打ち込む時代ではあるが、文字本来の美しさを学ぶ機会として、専門の先生に習い、コツをつかむ機会が増え、80%以上の児童は楽しく取り組むことができたと思われる。

7 健康や安全に注意していますか



設問7 感染症対策により、健康、安全面においても意識は高まっていると思われる。今後も意識を高めてさせていきたい。

どの項目においても児童、保護者の中には、「まったくそう思わない」と回答された方が見えたので、そう思われる要因を見つけ出し、解消できるように努めていきたいと思います。